2026年11月5日の電力需給

全国

△ **全国合計需要ピーク**
10,331万kW
11時、103,309 MW（10エリア同時刻合計）

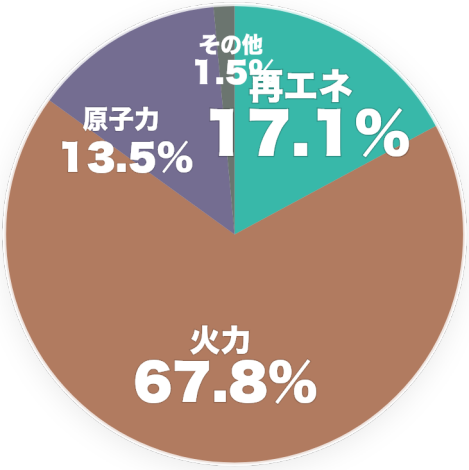
☀ **太陽光ピーク**
2,041万kW
11時、20,409 MW（自家消費分除く）

≋ **風力ピーク**
186万kW
9時30分、1,861 MW

◇ **再エネ最大需要比**
29.9%
11時、需要に対する割合

↔ **最大受電エリア**
東京
98.6 GWh

↔ **最大送電エリア**
東北
93.6 GWh



概況

再エネ比率トップ

北海道 35.0%

30.5 GWh

出力抑制量

0.0 GWh

最大: 北海道 0.0 GWh

揚水・蓄電の充電

20.6 GWh

発電構成比には含めない

日中の特徴

太陽光と夕方需要の時間差

多くのエリアで18-19時台に需要ピーク

- 需要ピークが最も大きかったのは東京で、9:30に3,394万kWでした。
- 再エネ比率は北海道が最も高く、発電電力量ベースで35.0%でした。
- 出力抑制は確認されませんでした。

項目	値	補足
再エネ発電量比率	**17.1%**	発電電力量ベース
再エネ発電量	**376 GWh**	太陽光・水力・風力・バイオマス・地熱
総発電電力量	**2,196 GWh**	発電構成比の分母
再エネ最大需要比	**29.9%**	11時
出力抑制量	**0.0 GWh**	最大: 北海道
揚水・蓄電の充電	**20.6 GWh**	発電構成比には含めない

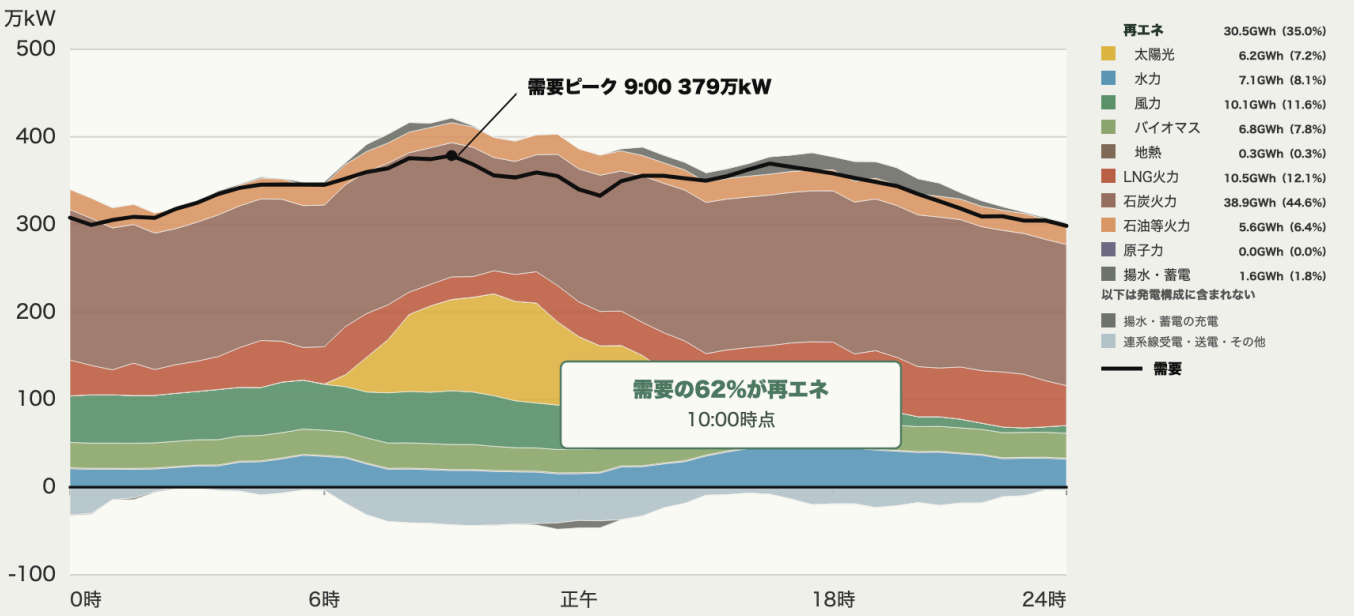
エリア	再エネ比率	再エネ発電量 (GWh)	出力抑制 (GWh)	連系線・その他 (GWh)
北海道	**35.0%**	**30.5**	**0.0**	**送電 4.9**
東北	**20.7%**	**64.0**	**0.0**	**送電 93.6**
東京	**9.5%**	**57.8**	**0.0**	**受電 98.6**
中部	**20.6%**	**56.4**	**0.0**	**受電 67.4**
北陸	**31.8%**	**24.7**	**0.0**	**送電 7.9**
関西	**15.6%**	**49.1**	**0.0**	**受電 39.9**
中国	**16.6%**	**26.2**	**0.0**	**送電 8.6**
四国	**21.3%**	**21.9**	**0.0**	**送電 41.3**
九州	**17.5%**	**42.7**	**0.0**	**送電 28.9**
沖縄	**12.4%**	**2.9**	**0.0**	—

2026年11月5日の供給実績

北海道エリア

再エネ
30.5GWh
（発電電力量ベース35.0%）

北海道エリア 2026年11月5日の供給実績（残余需要方式）



出典: 北海道電力ネットワーク公表のエリア需給実績データ（2026年11月CSV）
各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。 残余需要=エリア需要−水力−地熱−バイオマス−太陽光−風力。

総発電電力量
87.0GWh

需要ピーク
9:00、379万kW

連系線・その他
4.9GWhの送電

揚水・蓄電の充電
0.2GWh

出力抑制
0.0GWh

概況

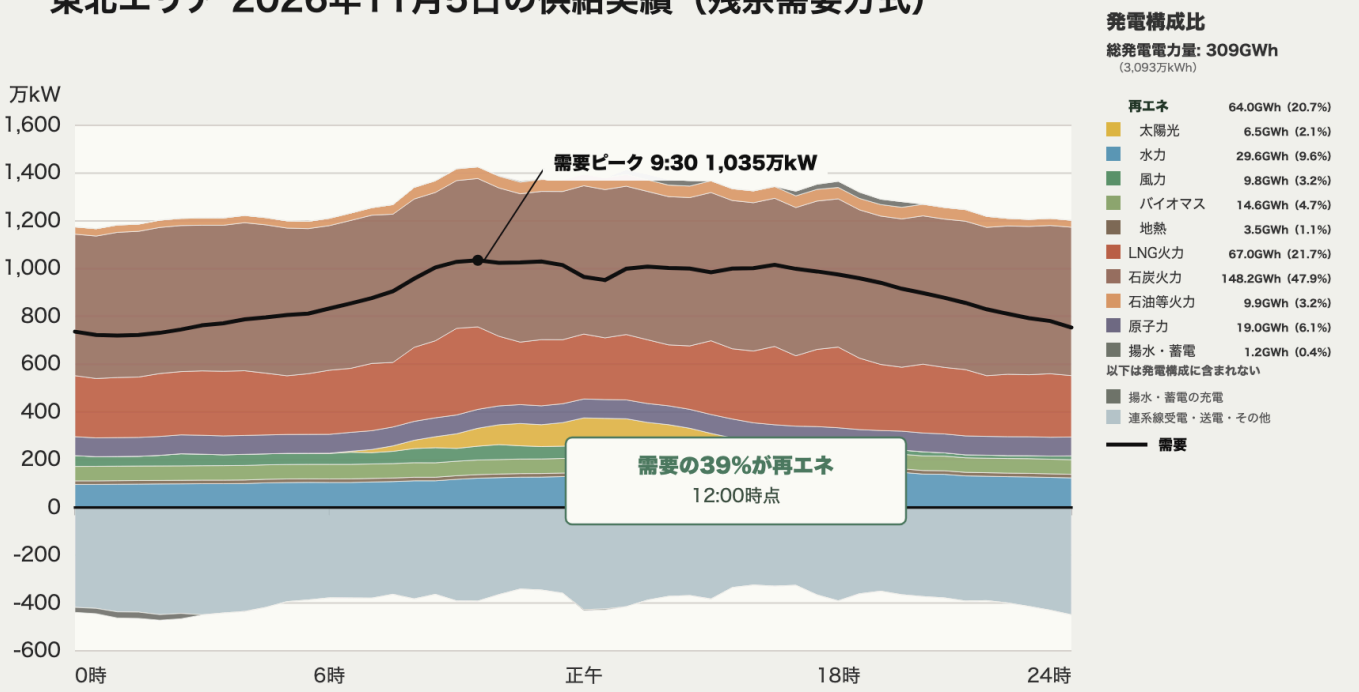
北海道は、太陽光ピーク116万kW、風力ピーク61万kWで、時間別の再エネ最大需要比は62.1%だった。

2026年11月5日の供給実績

東北エリア

再エネ
64.0GWh
（発電電力量ベース20.7%）

東北エリア 2026年11月5日の供給実績（残余需要方式）



出典: 東北電力ネットワーク公表のエリア需給実績データ（2026年11月CSV）
各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。 残余需要=エリア需要−水力−地熱−バイオマス−太陽光−風力。

総発電電力量
309.3GWh

需要ピーク
9:30、1,035万kW

連系線・その他
93.6GWhの送電

揚水・蓄電の充電
0.8GWh

出力抑制
0.0GWh

概況

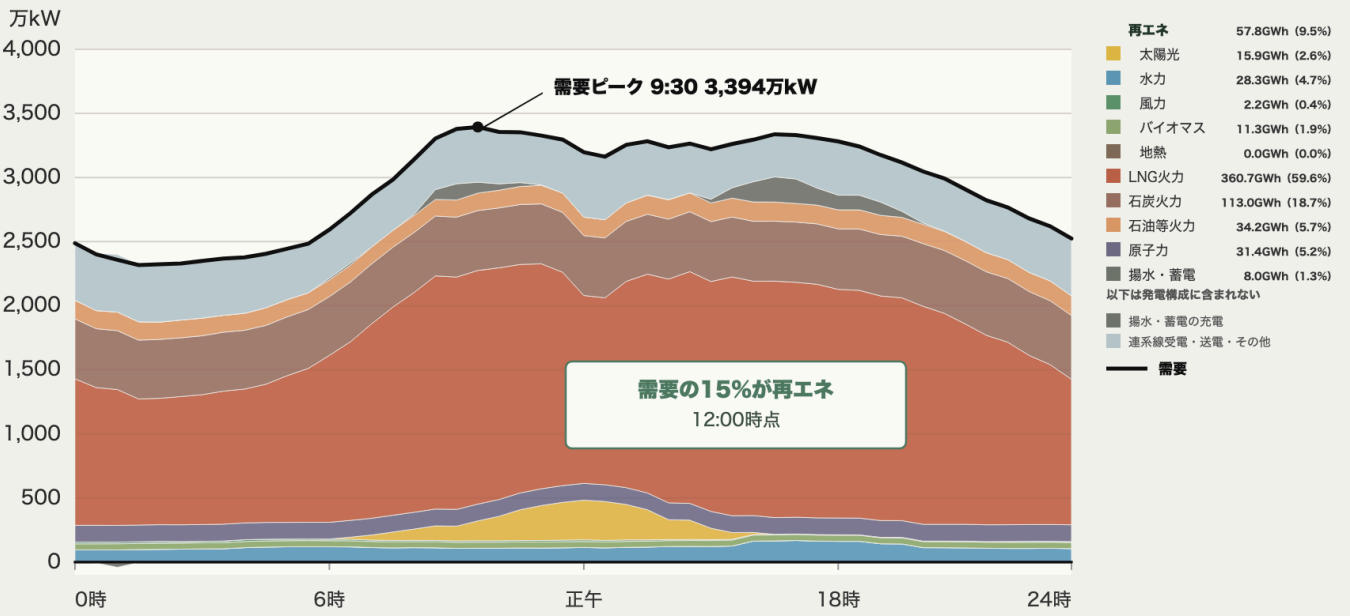
東北は、太陽光ピーク114万kW、風力ピーク63万kWで、時間別の再エネ最大需要比は39.2%だった。

2026年11月5日の供給実績

東京エリア

再エネ
57.8GWh
（発電電力量ベース9.5%）

東京エリア 2026年11月5日の供給実績（残余需要方式）



出典: 東京電力パワーグリッド公表のエリア需給実績データ（2026年11月CSV）
各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。 残余需要=エリア需要−水力−地熱−バイオマス−太陽光−風力。

総発電電力量
605.1GWh

需要ピーク
9:30、3,394万kW

連系線・その他
98.6GWhの受電

揚水・蓄電の充電
0.3GWh

出力抑制
0.0GWh

概況

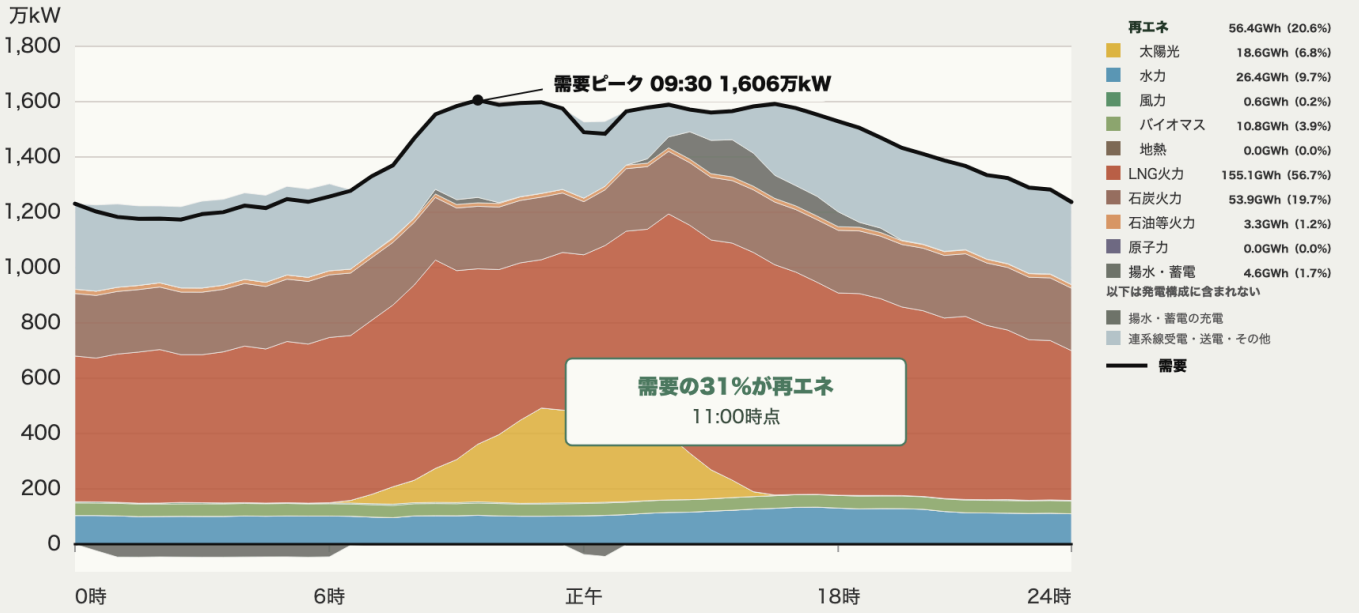
東京は、太陽光ピーク310万kW、風力ピーク14万kWで、時間別の再エネ最大需要比は15.1%だった。

2026年11月5日の供給実績

中部エリア

再エネ
56.5GWh
（発電電力量ベース20.6%）

中部エリア 2026年11月5日の供給実績（残余需要方式）



出典: 中部電力パワーグリッド公表のエリア需給実績データ（2026年11月CSV）
各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。 残余需要=エリア需要−水力−地熱−バイオマス−太陽光−風力。

総発電電力量
273.4GWh

需要ピーク
09:30、1,606万kW

連系線・その他
67.4GWhの受電

揚水・蓄電の充電
3.1GWh

出力抑制
0.0GWh

概況

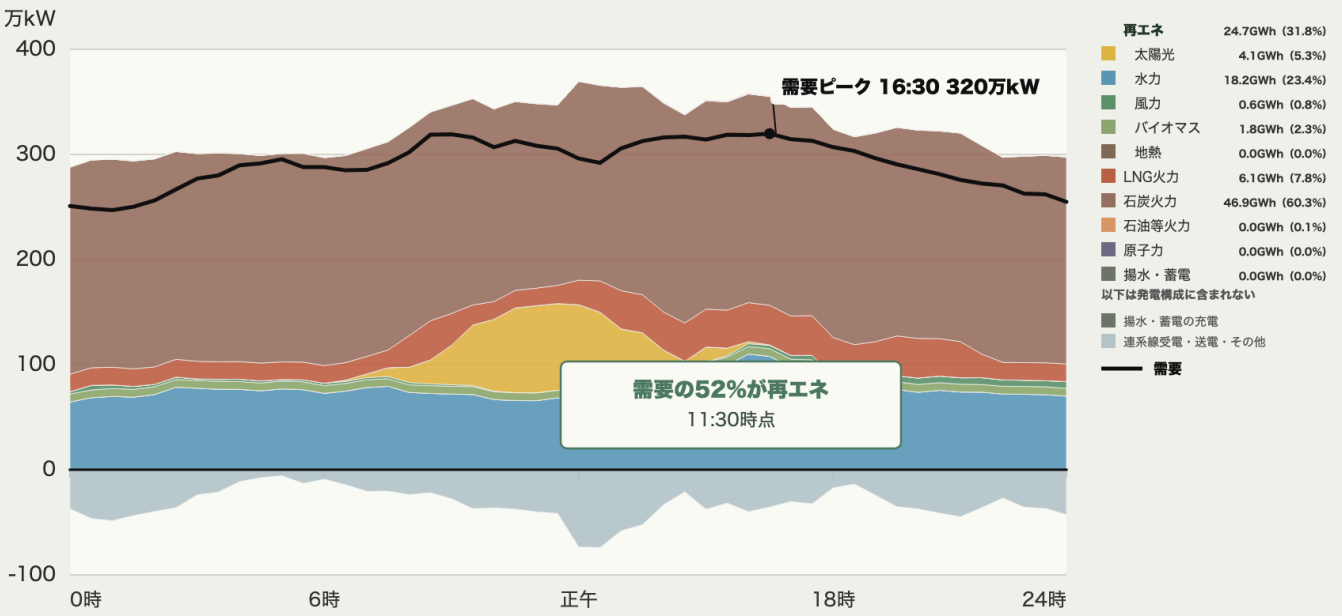
中部は、太陽光ピーク344万kW、風力ピーク5万kWで、時間別の再エネ最大需要比は32.6%だった。

2026年11月5日の供給実績

北陸エリア

再エネ
24.7GWh
（発電電力量ベース31.8%）

北陸エリア 2026年11月5日の供給実績（残余需要方式）



出典: 北陸電力送配電公表のエリア需給実績データ（2026年11月CSV）
各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。 残余需要=エリア需要−水力−地熱−バイオマス−太陽光−風力。

総発電電力量
77.8GWh

需要ピーク
16:30、320万kW

連系線・その他
7.9GWhの送電

揚水・蓄電の充電
0.0GWh

出力抑制
0.0GWh

概況

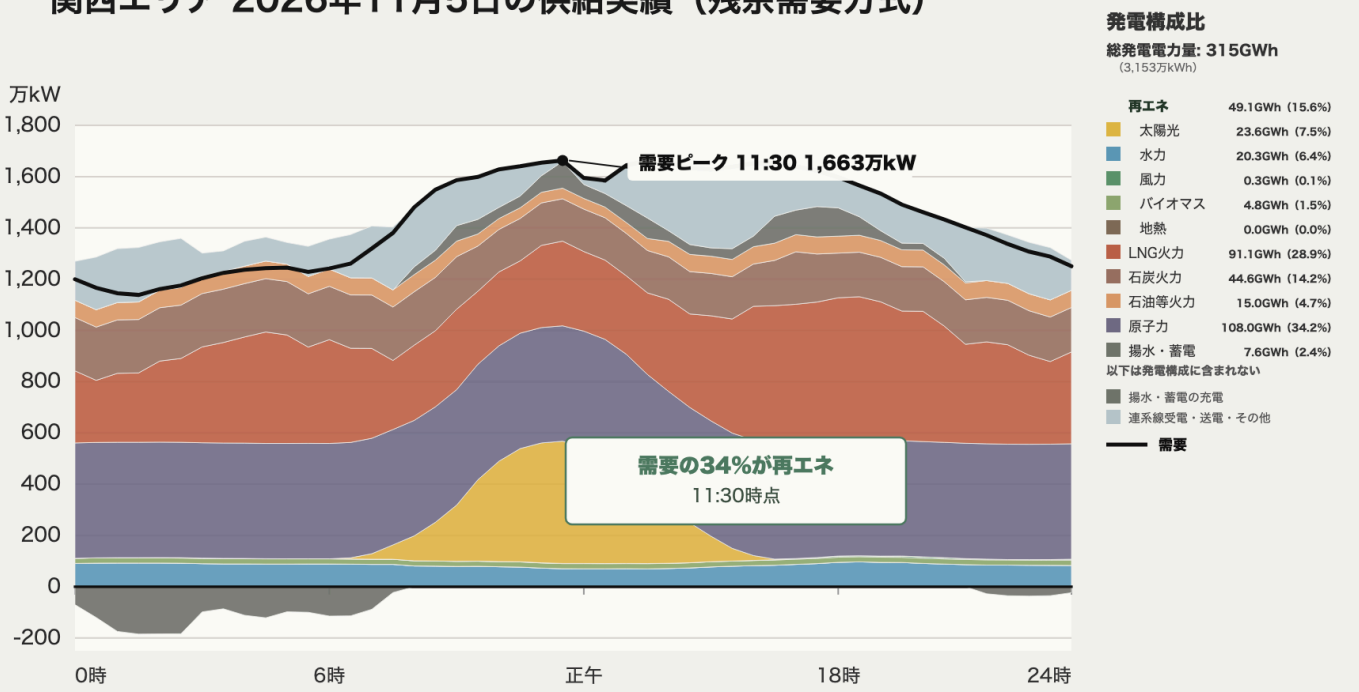
北陸は、太陽光ピーク83万kW、風力ピーク6万kWで、時間別の再エネ最大需要比は53.0%だった。

2026年11月5日の供給実績

関西エリア

再エネ
49.0GWh
（発電電力量ベース15.6%）

関西エリア 2026年11月5日の供給実績（残余需要方式）



出典: 関西電力送配電公表のエリア需給実績データ（2026年11月CSV）
各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。 残余需要=エリア需要−水力−地熱−バイオマス−太陽光−風力。

総発電電力量
315.4GWh

需要ピーク
11:30、1,663万kW

連系線・その他
39.9GWhの受電

揚水・蓄電の充電
10.1GWh

出力抑制
0.0GWh

概況

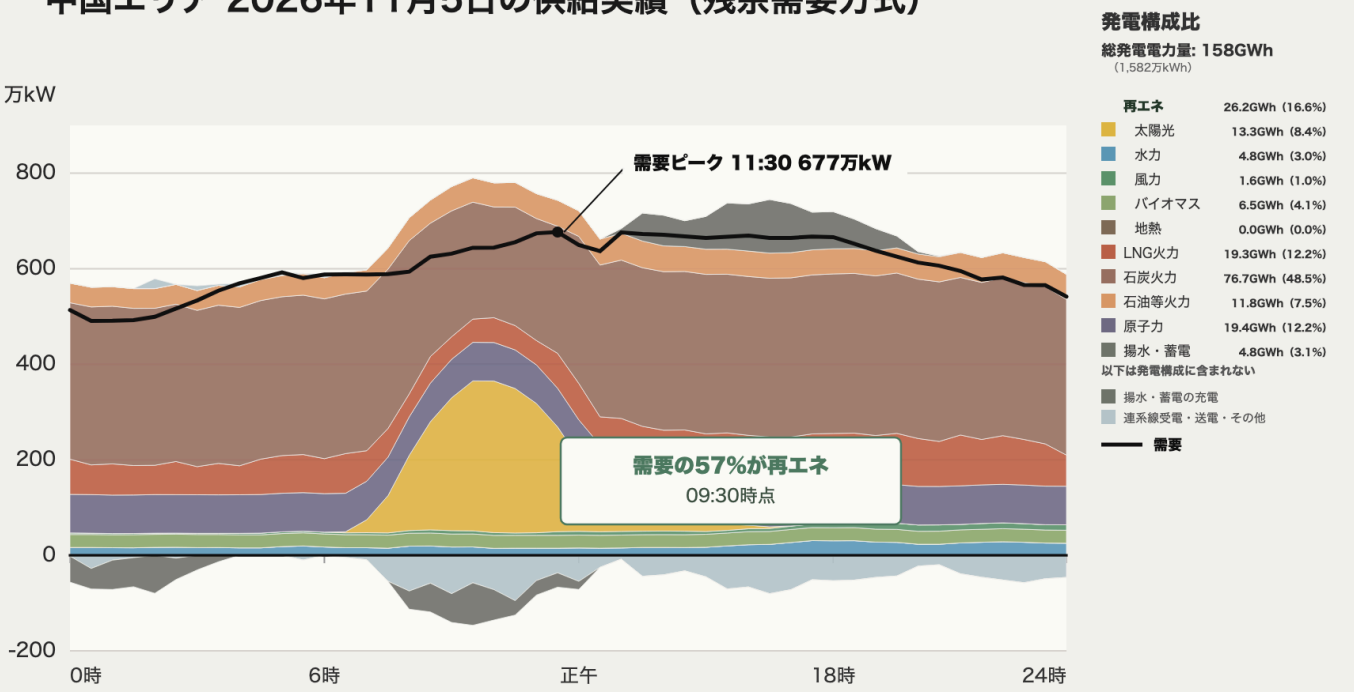
関西は、太陽光ピーク477万kW、風力ピーク5万kWで、時間別の再エネ最大需要比は34.3%だった。

2026年11月5日の供給実績

中国エリア

再エネ
26.2GWh
（発電電力量ベース16.6%）

中国エリア 2026年11月5日の供給実績（残余需要方式）



出典: 中国電力ネットワーク公表のエリア需給実績データ（2026年11月CSV）
各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。 残余需要=エリア需要−水力−地熱−バイオマス−太陽光−風力。

総発電電力量
158.2GWh

需要ピーク
11:30、677万kW

連系線・その他
8.9GWhの送電

揚水・蓄電の充電
4.0GWh

出力抑制
0.0GWh

概況

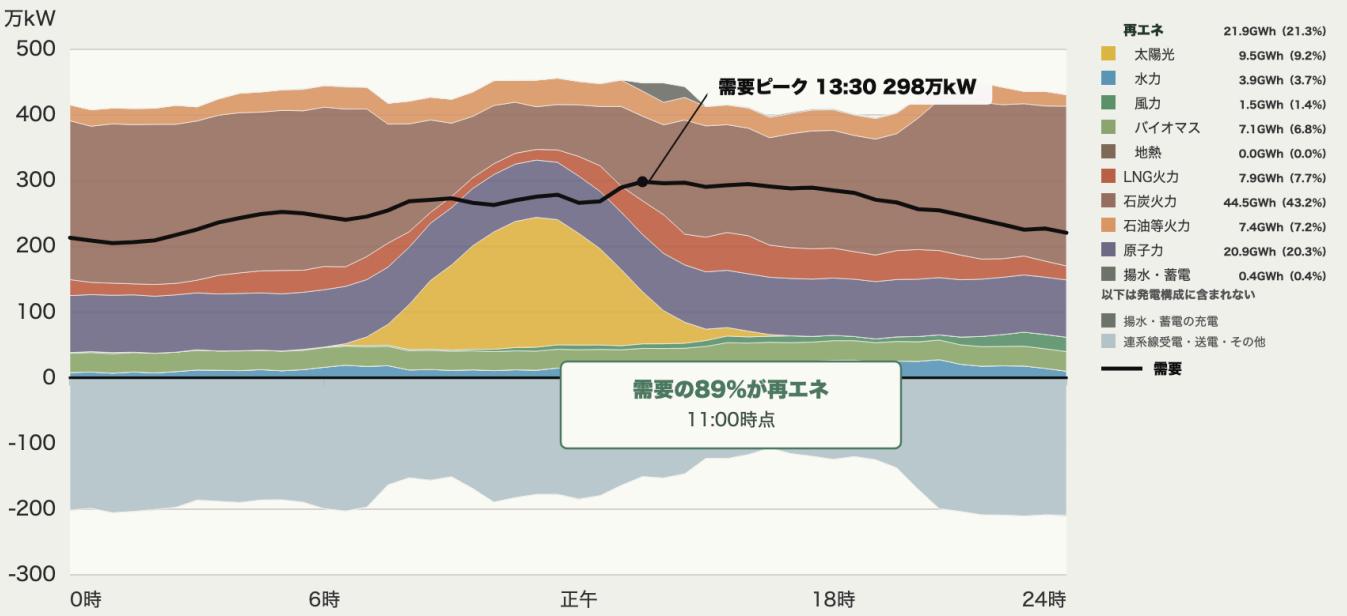
中国は、太陽光ピーク317万kW、風力ピーク13万kWで、時間別の再エネ最大需要比は56.7%だった。

2026年11月5日の供給実績

四国エリア

再エネ
21.9GWh
（発電電力量ベース21.3%）

四国エリア 2026年11月5日の供給実績（残余需要方式）



出典: 四国電力送配電公表のエリア需給実績データ（2026年11月CSV）
各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。 残余需要=エリア需要−水力−地熱−バイオマス−太陽光−風力。

総発電電力量
103.0GWh

需要ピーク
13:30、298万kW

連系線・その他
41.3GWhの送電

揚水・蓄電の充電
0.0GWh

出力抑制
0.0GWh

概況

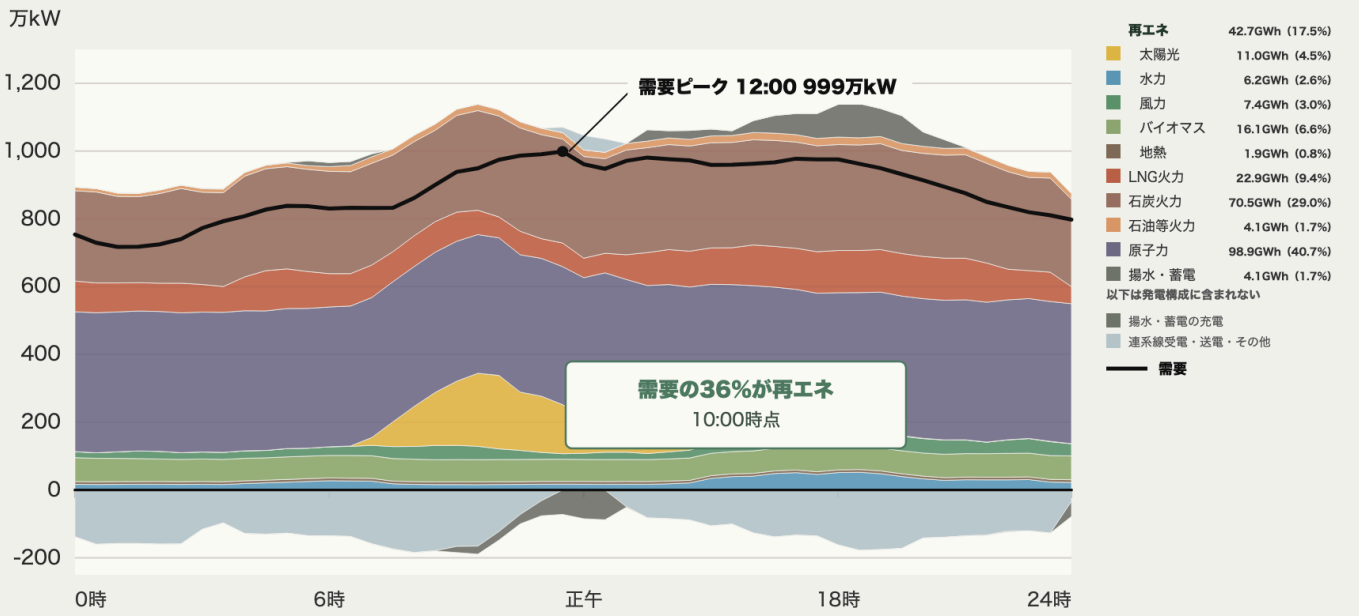
四国は、太陽光ピーク198万kW、風力ピーク22万kWで、時間別の再エネ最大需要比は88.6%だった。

2026年11月5日の供給実績

九州エリア

再エネ
42.7GWh
（発電電力量ベース17.5%）

九州エリア 2026年11月5日の供給実績（残余需要方式）



出典: 九州電力送配電公表のエリア需給実績データ（2026年11月CSV）
各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。 残余需要=エリア需要−水力−地熱−バイオマス−太陽光−風力。

総発電電力量
243.2GWh

需要ピーク
12:00、999万kW

連系線・その他
29.4GWhの送電

揚水・蓄電の充電
2.2GWh

出力抑制
0.0GWh

概況

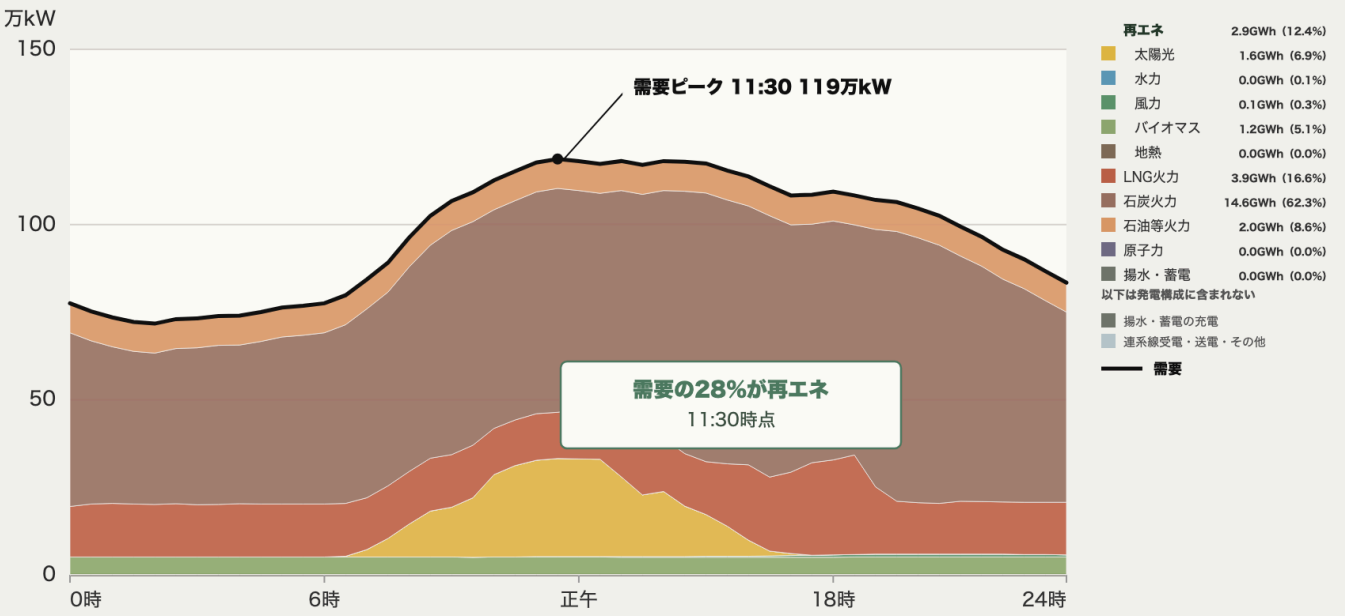
九州は、太陽光ピーク217万kW、風力ピーク47万kWで、時間別の再エネ最大需要比は36.3%だった。

2026年11月5日の供給実績

沖縄エリア

再エネ
2.9GWh
（発電電力量ベース12.4%）

沖縄エリア 2026年11月5日の供給実績（残余需要方式）



出典: 沖縄電力公表のエリア需給実績データ（2026年11月CSV）
各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。 残余需要=エリア需要−水力−地熱−バイオマス−太陽光−風力。

総発電電力量
23.4GWh

需要ピーク
11:30、119万kW

連系線・その他
0.0GWh

揚水・蓄電の充電
0.0GWh

出力抑制
0.0GWh

概況

沖縄は、太陽光ピーク28万kW、風力ピーク1万kWで、時間別の再エネ最大需要比は28.1%だった。